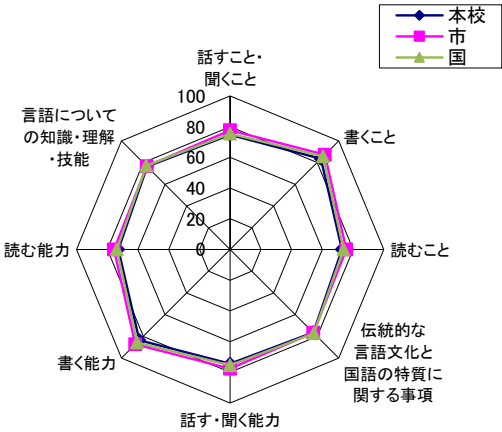


宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

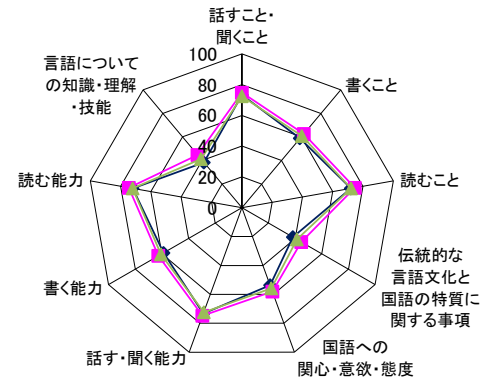
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.7	77.6	75.4
	書くこと	83.5	87.3	85.7
	読むこと	72.8	75.6	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5	76.6	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.4	77.6	75.4
	書く能力	83.5	87.3	85.7
	読む能力	72.8	75.6	73.8
	言語についての知識・理解・技能	76.5	76.6	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	73.3	74.8	72.4
	書くこと	58.8	62.6	60.8
	読むこと	72.0	74.6	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	38.4	44.7	41.4
観点	国語への関心・意欲・態度	53.7	58.0	55.9
	話す・聞く能力	73.3	74.8	72.4
	書く能力	58.8	62.6	60.8
	読む能力	72.0	74.6	72.1
	言語についての知識・理解・技能	38.4	44.7	41.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」という点においては、正答率が県平均・全国平均を上回っている。 ●「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」という点においては、正答率が低かった。	・テーマに応じた適切な資料を用いて話すという授業を多く取り入れる。さらに、その中で自己評価や相互評価を行うことで、資料を効果的に用い、目的に合った話ができるように改善する。
書くこと	○「書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く」という設問では、正答率が県平均・全国平均をやや上回っている。 ●「文章の構成を工夫して分かりやすく書く」の正答率は、県平均・全国平均を5ポイント以上下回っている。	・文章の構成を正しく理解し文章を書けるように、内容に応じて適切に段落構成を考えて書く学習を継続して行う。
読むこと	○「文章の表現の仕方について自分の考えを持つ」と「目的に応じて必要な情報を読み取る」という設問は、正答率が県平均・全国平均を上回っている。 ●「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する」という点は、正答率が県平均・全国平均から4ポイント下回っている。	・物語の内容を考えるとときに、登場人物の台詞や行動、場面描写などに注目させて、登場人物の心情を理解する授業を設けることで、書かれている行動や、台詞などから内容をとらえられるようにさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「楷書と行書の違いを理解する」については、正答率が県平均・全国平均を10ポイント以上上回っている。 ●「古典には様々な種類の作品があることを知る」という点においては、正答率が県平均・全国平均から9ポイント以上下回っている。	・古典の授業を行う際、現代語訳や文法だけを取り上げるのではなく、その作品や文章の書かれた時代背景や関連する情報などを提示することで、古典において広く知識を持たせる。